



14日 新宿駅西口ロータリーで宣伝カーから訴え

東京医療関連協（東京医労連と都立病院の仲間などで構成）が取り組んだナースウエーブ行動（14日、新宿）には、各組合からのべ272名の参

医師・看護師・介護職を増やして 看護の日行動に272人 東京医療関連協

署名に列、1時間で1,698筆

加で成功しました。
新宿駅西口での署名宣伝行動では、11時30分からわずか一時間の間に、1698筆もの署名が集まりました。宣伝カーに乗ったナースやナースマンからの現場の声、「看護師を増やして充実した医療を」の訴えに道行く人たちの注目も集まりました。

午後の講演も好評

午後には、明治安田生命ホールで看護の日集会。「ニュースペーパー」によるコントや、日本医労連で取り組んだ看護職員労働実態調査の報告につづき、日本ノーリフト協会代表の保田淳子さんの講演が行われました。

講師の保田さんは、ご自身のオー

ストラリアでの体験も交え、持ち上げない看護・介護の実技も紹介。目からウロコの内容に、「もっと聞きたかった。」の声も。
患者さんによりそった、より質の高い看護・介護のためにも、人手を増やし、働く条件の改善が必要、との訴えに、会場全体に納得と共感が広がりました。
「5月12日看護の日」週間にあわせた恒例の東京医療関連労働組合協議会ナースウエーブ。今年も盛況でした。



「署名へのご協力をお願いします」